

## 指定管理者評価表

### 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市原池公園体育館、原池公園スケートボードパーク、陶器スポーツ広場（陶器テニスコート、陶器野球場）	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため設置	
<b>(3) 所管部局</b>	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
原池スポーツチャレンジ共同体 （美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社、大林ファシリティーズ株式会社大阪支店、利晃建設株式会社）	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成28年4月1日から令和3年3月31日まで（5年間）	
<b>(6) 主な事業</b>	
①施設の管理運営に関する業務（利用申込の受付等・利用料金の徴収・施設、設備、器具及び備品の維持管理・利用案内等に関する業務） ②自主事業の企画及び実施に関する業務（スポーツ教室の企画及び実施・トレーニング事業の実施・その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業） ③公園施設の管理許可による駐車場管理業務 ④その他の業務（職員の雇用、配置、研修・施設内の目的に適したスペースの利用・目的外使用の取扱い・文書管理・業務報告・統計資料等の作成・関係機関等の連絡調整、スポーツ行政等への協力・緊急時等への対応・指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ）	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有（利用料金制）	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
公募	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
市民	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
無	

## 2 管理運営状況

## (1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

- ①毎月1回公園及び外周路のゴミ収集(休館日)  
 ②堺市長杯原池公園スケートボードコンテストの継続的な実施(地元利用者の増加)  
 ③原池フェスタでの無料イベントの開催(年1回実施)

## (2) 利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体
ア 利用者数(人)	244,846	217,591	238,587	243,448	
利用者数の算出方法	スクール、ジムは会員数等を管理するWTFSシステムよりPC管理データを抽出、専用利用はオーパス端末データより抽出、イベント等は参加人数にて算出。				
市による状況分析	新型コロナウイルス対策のための利用制限があったものの、利用者数は例年どおりの水準となった。専用利用1件あたりの利用者数が増加したことが利用者数増加につながったと考えられる。				

イ 稼働率(%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	
稼働率の算出方法	利用者が予約できる最小区分を1コマとし、使用したコマ÷使用できる全てのコマで算出。				
市による状況分析	全体としては、引き続き高い利用率を維持しているものの、部活動の利用が減ったことが原因で陶器野球場の利用率が大幅に減少した。				

ウ 利用者満足度(%)	90	94	93	93	
利用者満足度の測定方法	四半期(3ヶ月)毎に施設別にて実施。10段階の評価満足度による評価。 ①8～10満足②5～7やや満足③3～4やや不満④0～2不満のうち、①と②の数を集計。				
市による状況分析	高い満足度を維持している。引き続き施設の早期修繕及び丁寧な接遇を徹底し、「大変満足」の割合のさらなる向上を図る必要がある。				

## (3) 管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	29	29	25	33	32
イ 職員研修(回) ※令和2年度は予定回数	11	11	12	12	12
ウ 要望、苦情等(件)	3	1	4	3	—
エ 事件、事故等(件)	11	7	13	7	—

市による状況分析	月1回程度接遇研修や実務研修を実施しており、高い利用者満足度につながっていると考えられる。事故については、空調の効果的な稼働等もあり、熱中症の発生もなく、全体的に昨年度より大幅に減少した。
----------	--

## (4) 収支状況(単位:円)

## ■ 指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	57,944,000	61,887,070	56,902,549	56,736,518	56,377,000
	利用料金	68,714,620	58,542,575	64,492,990	58,332,070	68,050,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	90,410	69,770	75,930	2,980	2,140,000
合 計		126,749,030	120,499,415	121,471,469	115,071,568	126,567,000
イ 支出	人件費	57,640,145	53,598,763	47,019,547	48,871,312	51,000,000
	委託料 ( )内は総支出額 に占める委託料の割合	24,199,558 (18.7%)	30,243,778 (23.8%)	31,201,348 (26.3%)	31,499,623 (25.6%)	32,000,000 (25.3%)
	修繕費	3,338,367	3,333,592	3,308,488	3,303,120	3,361,000
	光熱水費	22,766,254	18,010,597	16,545,283	16,638,508	20,000,000
	その他経費	21,312,458	21,949,494	20,618,814	22,642,172	20,206,000
合 計		129,256,782	127,136,224	118,693,480	122,954,735	126,567,000
利用者一人当たりの支出額		538	519	545	505	—

ウ 収支差額	-2,507,752	-6,636,809	2,777,989	-7,883,167	0
--------	------------	------------	-----------	------------	---

エ 市への納付金の額	30,000	100,000	120,000	150,000	160,000
------------	--------	---------	---------	---------	---------

オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	新型コロナウイルス対策のための利用制限の影響もあり、体育館における専用利用件数が減少し、利用料金収入の減少につながった。また、通信運搬費等の支出増により、収支が大幅な赤字となった。
----------	--

## ■ 自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	46,841,148	39,643,850	40,360,285	38,729,947	46,176,600
イ 支出	44,876,460	43,555,900	46,465,264	43,802,280	42,226,600
ウ 収支差額	1,964,688	-3,912,050	-6,104,979	-5,072,333	3,950,000
エ 市への納付金の額	30,000	100,000	120,000	150,000	160,000
オ 事業数(回)	2,633	2,496	2,515	2,263	
カ 参加者数(人)	65,982	59,976	53,439	48,985	

主な自主事業	スクール(教室)、サービスプログラム(ジム)、ショップ、自動販売機、広告宣伝事業、イベント、パーソナルトレーニング、ウォーキングステーション
--------	--

市による状況分析	収入の減少については、3月の教室中止等の対応が影響している。参加者数はトレーニング室会員数の減少の影響もあり、減少傾向にある。広報活動の強化等により、引き続き収入目標の達成を図る必要がある。
----------	---

### 3 目標管理、評価等

#### (1) 適正な管理運営の確保

<b>目標管理</b>	評価の指標	利用者満足度	(設定理由) 適切な管理運営の度合を客観的に判断するため。
	目標	仕様書目標値：満足・やや満足合わせて80% 年度事業計画書目標値：満足・やや満足合わせて88%	(設定理由) 継続して良質な施設環境を提供し、高い満足度を維持するため。
	実績	スタッフ満足度 満足・やや満足96% 施設満足度 満足・やや満足90%	(分析) 施設の清掃や保守点検について90%あるが、やや満足などの中間的な意見も多くなってきており設備の修繕も増えつつある。優先順位を決め対応する必要がある。
		<p>スタッフ満足度</p>	<p>施設満足度</p>

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	堺市民の積極的採用、障害者雇用継続。AED・避難訓練等、座学を含め事故や緊急時対応の研修を継続的に実施。自主的備蓄水の確保。緊急時対応マニュアルの作成。
---------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	P：四半期毎のアンケート実施 D：アンケート回収・分析 C：ご意見への回答 A：改善事項（回答）の実行 上記P D C Aサイクルによる利用者とのコミュニケーション推進
-----------------------	--

	指定管理者の自己評価	市の評価
評価	A	A
具体的な理由	社内で取り組んでいるCS向上研修を定期的に行い、接客レベルを向上させた。アンケートに関してはご意見・ご要望に対して開示返答を実施し利用者とのコミュニケーションも今まで以上に取るようにした。	昨年度に引き続き高い満足度となった。利用者からの意見等に真摯に対応したこと、月1回程度の研修によりスタッフのスキルアップを図ったことが、利用者からの高い評価につながったと考えられる。
対応策等	スタッフに対し、代表企業認定の研修を受けることにより授与される「CS向上研修修了書」の取得を推進する。	丁寧な接遇対応及び利用者要望への迅速な対応、利用者意見を反映したイベント及び教室の実施により引き続き高い満足度を維持してほしい。

<b>評価基準</b>	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2) 利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	施設利用者数	(設定理由) 利用者数の増加がサービスの向上に直結するため。											
	目標	仕様書目標値： 体育館・スケートボードパーク及び陶器スポーツ広場（野球場・テニスコート）における平日の利用率向上に取り組みながら令和2年度の施設利用者を平成26年度比5%増（平成26年度延べ201,349人/年） 教室参加者数が令和2年度において平成26年度比5%増（平成26年度延べ25,891人/年） 年度事業計画書目標値： 各施設利用者数の合計245,000人 スポーツ教室事業参加者数35,800人	(設定理由) 指定期間5年間で26年度実績に対して5%増の施設利用者を目標とする。											
	実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>体育館</td> <td style="text-align: right;">146,207人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td style="text-align: right;">55,608人</td> </tr> <tr> <td>陶器スポーツ広場</td> <td style="text-align: right;">30,212人</td> </tr> <tr> <td>スケートボードパーク</td> <td style="text-align: right;">11,421人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">243,448人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ教室参加者数</td> <td style="text-align: right;">23,268人</td> </tr> </table>	体育館	146,207人	トレーニング室	55,608人	陶器スポーツ広場	30,212人	スケートボードパーク	11,421人	計	243,448人	スポーツ教室参加者数	23,268人
体育館	146,207人													
トレーニング室	55,608人													
陶器スポーツ広場	30,212人													
スケートボードパーク	11,421人													
計	243,448人													
スポーツ教室参加者数	23,268人													

施設利用者

	平成30年度	令和元年度	前年比
体育館	133,476	146,207	110%
トレーニング室	64,722	55,608	86%
陶器スポーツ広場	30,737	30,212	98%
スケートボードパーク	9,652	11,421	118%
合計	238,587	243,448	102%

利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	3月はコロナの影響により、利用の制限（新規受付停止など）、スポーツ教室・イベントの中止を行ったことにより、利用者数が減少した。トレーニング室についても3月4日より利用中止とした。
--	---

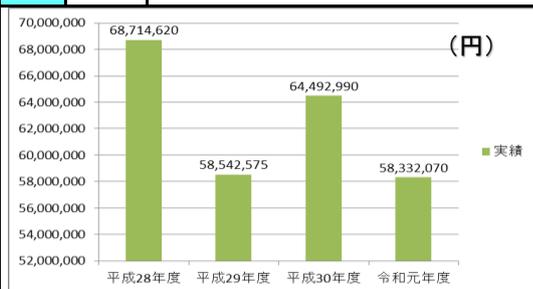
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	冷房の効きが悪いとの意見があったので、こまめな調節を行うことにより対応した。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価	市の評価	
	評価	A	A
	具体的な理由	SNSの活用（LINE、インスタグラム、ツイッター、フェイスブック）やHPのリニューアルにより施設概要やスクールを外部の方に広く認知していただけた。ご意見などは堺市と共有することでタイムリーに対応ができた。	コロナによる影響があったにも関わらず、昨年度と比較して、利用者数は微増した。教室参加者数について、昨年度比でわずかな減少にとどまったものの、目標値には届かなかった。
対応策等	陶器野球場の稼働率が減少傾向にある。近隣学校への利用促進やSNSを使った案内などにより稼働率向上をめざす。	積極的な大会誘致及び平日の屋外施設の利用促進等によりさらなる利用者数の増加に努めてほしい。また、利用者ニーズに応じた教室の開催及び積極的な広報活動により、教室参加者数の増加に努めてほしい。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 利用促進が図られた結果が反映されるため。
	目標	仕様書目標値：令和2年度までに60,000千円以上 年度事業計画書の目標値：68,050千円以上	(設定理由) 前年度より多くの利用料金収入確保を目標とする。
	実績	58,332,070円	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 年度を通してトレーニング室の利用料金収入が減少している。要因として近隣の競合施設が増えたことによる利用者の移籍が大きいと考えられる。また、3月はコロナ禍の影響によりトレーニング室の利用中止やアリーナの利用制限、大会のキャンセル、実施予定の自主事業も中止となった為大きく目標に届かない結果となった。



	実績 (円)	前年比
平成28年度	68,714,620	106%
平成29年度	58,542,575	85%
平成30年度	64,492,990	110%
令和元年度	58,332,070	90%

収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	近隣競合施設の増加により減少傾向にあったトレーニング室会員数を増やすべく、新規入会者とその紹介者の料金を割引くキャンペーンを実施した。
------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	年4回の利用者アンケートの他に随時アンケートを収集し意見・要望をより反映できる体制を整えた。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	コロナ禍の影響もあり、利用料金収入は減少という結果となった。コロナ禍以外の要因として、近隣競合によるトレーニング室利用者の移籍によるトレーニング室の利用料金収入の減少が挙げられる。	仕様書の目標値に近い利用料金収入を確保したものの、コロナ禍の影響もあり、前年度と比べると体育館の専用利用件数が2,750件減少した。また、近隣施設との競合でトレーニング室利用者数が約9,000人減少したことにより利用料金収入が減少した。		
対応策等	トレーニング室での利用料金・利用者数が減少傾向にある。近隣にトレーニングジムが増えてきていることや、コロナ禍での利用の躊躇などが考えられるので、施設の安全性や利用しやすい環境などをアピールし利用者を積極的に誘致する。	トレーニング室における入会キャンペーンの実施検討、感染症対策の徹底による利用者の安全確保、効果的な広報活動及び空きコマの有効活用により、引き続き利用料金収入の増加を図ってほしい。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

原池公園体育館等利用率

※トレーニング室、研修室は除く

(単位:%)

施設名	室名	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
原池公園体育館	大アリーナ	平日	65.2	57.6	62.3	59.6
		土日祝	98.8	96.1	96.8	94.7
		計	85.2	80.0	80.1	75.7
	中アリーナ	平日	83.9	79.1	78.5	78.8
		土日祝	83.9	94.8	98.0	95.6
		計	91.9	85.8	87.6	86.1
	小アリーナ	平日	95.2	98.9	95.9	90.3
		土日祝	87.5	85.3	87.3	76.4
		計	90.0	89.8	90.3	80.9
	多目的室	平日	52.9	53.3	51.4	61.4
		土日祝	96.1	90.5	93.9	89.8
		計	69.4	68.2	68.5	75.6
陶器野球場	平日	50.2	44.7	50.1	17.6	
	土日祝	93.2	85.1	91.4	73.6	
	計	69.6	61.3	67.6	34.5	
陶器テニスコート	平日	57.9	53.4	55.4	56.0	
	土日祝	97.7	95.0	96.3	96.5	
	計	71.7	66.9	69.0	69.7	